

伊藤清三先生のご逝去を悼む

楠岡 成雄（数理科学研究科 教授）

本学名誉教授、伊藤清三先生（理学部数学科，当時）は2011年11月26日に84歳で逝去されました。先生は1950年に名古屋大学理学部数学科を卒業し名古屋大学理学部助手、講師を経て、1957年に本学理学部講師に着任され1987年に定年退官されるまで数学教室において解析学の教育研究にご尽力されました。

先生は、拡散方程式の境界値問題、ナビエ・ストークス方程式の初期値問題などの古典解の存在・一意性の証明、楕円型偏微分方程式の理想境界の研究など偏微分方程式に関して研究業績を挙げられました。教育では、専門ではない確率

過程論の講義やセミナーも担当されるなど、解析学全般における研究者の育成に尽力されました。著書も多く、1963年に出版された「ルベーグ積分入門」は経済学を含むさまざまな科学分野の研究者や学生に今なお読まれ続けられています。

先生は穏やかな方でしたが頑固な一面もあり、学生大会のための講義中止の要請が学生自治会からあった時、「その日の講義を聴かなくても支障がないように、違う内容の講義を一回だけ行う」と講義は中止しなかったことがありました。また、普段は学生に真面目な一面しか見せない先生でしたが、懇親会で当時の政治家を皮肉った自作の替え歌を披露される



■ 故・伊藤清三先生

こともありました。

学生思いで教育熱心であった伊藤先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
2011年10月24日付学位授与者 (4名)			
論文	生化	西谷 陽一	標的分子同定による生理活性化合物の作用機序解析
論文	生化	田中 祐嗣	Foxo1 と TRPV1 の糖・脂質代謝制御機構とその糖尿病治療薬への応用
課程	地惑	麥 琛	付加体によるラブ波の励起(※)
課程	生科	宮西 弘	魚類におけるナトリウム利尿ペプチドファミリーの機能解析(※)
2011年10月31日付学位授与者 (1名)			
課程	生化	助川 裕子	分裂酵母 Mei2 による MAP キナーゼと CTD キナーゼを介した減数分裂開始のフィードバック制御
2011年11月21日付学位授与者 (1名)			
課程	生科	河野 崇宏	クラミドモナス鞭毛軸系スポークヘッドにおけるタンパク質間相互作用の研究(※)
2011年11月30日付学位授与者 (1名)			
課程	生科	伊藤 瑛海	植物固有型 RAB5, ARA6 のエフェクターを介した機能発現機構の研究(※)

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2011.11.16	地惑	准教授	東塚 知己	昇任	助教から
2011.11.16	原子核	講師	山口 英斉	昇任	助教から
2011.11.16	化学	特任助教	生井 飛鳥	採用	
2011.11.30	情報システム	助教	柴田 有	辞職	
2011.12.1	情報システム	助教	本城 剛毅	採用	
2011.12.31	化学	准教授	加納 英明	辞職	国立大学法人筑波大学数理物質系・准教授へ
2011.12.31	原子核	特任助教	土井 琢身	辞職	
2012.1.1	化学	特任助教	神坂 英幸	採用	

理工医農 4 研究科合同 公開講座「放射線を知る」

東京大学の理、工、医、農の4研究科は合同で、放射線についての基礎知識を系統的に学べる公開講座を以下のように行います。

講演者 大塚孝治教授（理学系研究科）、勝村庸介教授（工学系研究科）、宮川清教授（医学系研究科）、
中西友子教授（農学生命科学研究科）、長瀧重信 長崎大学名誉教授

日時 2012年2月19日（日）13:30～17:30

問い合わせ先 東京大学大学院理学系研究科・理学部 広報室

会場 東京大学本郷キャンパス 安田講堂

TEL：03-5841-7585 E-mail：kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

入場 無料。事前申込不要。どなたでもご参加いただけます。

URL：http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/event/radiation2012/

定員 700名（当日先着順）

あとがき

このたび筑波大学への転出により、理学部広報誌編集委員を退任することになりました。2010年4月から2011年12月まで本職を拝命し、もっとも印象に残ったのは、やはり地震・原発事故関連の特集記事（2011年5月号）の編集作業でした。執筆者の先生方とやり取りしながら、推敲につぐ推敲を重ねた編集

作業を通して、執筆者の先生方、牧島委員長はじめ編集委員皆さま方の熱意にうたれました。たくさんのメールが往来する中、本職に就いたときに拝読した、以下の記事を思い出しました。第一号（1969年1月15日発行）で、当時の理学部長、久保亮五先生が、「理学部の皆さんの協力によって、これがやがて新

しい理学部をつくる一つの力にまで育ってゆくことを望みたい」と書かれておりました。今回、まさにその力を実感した次第です。理学系研究科の今後ますますのご発展をお祈りしております。

加納 英明（化学専攻 准教授）

3月の震災と原発事故の余波を受けて春や夏の研究集会やオープンキャンパスが延期され、12月19日～21日に予定されていた山口大学出張の直前に大阪で研究集会、直後に東京大学オープンキャンパスの日程が移動した。大阪でポスター発表をして、懇親会で焼酎を飲ん

でいると、突然喉が痛くなった。明るく朝、風邪薬を服用し、のど飴をなめながら山口に新幹線で直行した。授業とセミナーはマイクの力を借りてなんとか乗り切り、明日はオープンキャンパスである。家に帰れば、出張の前に押し入れから出したクリスマスツリーが飾られないまま

の樹木の状態で家の居間に置き忘れられていた。今年の暮れはいつもとは違うことだけは確かである（2011年12月22日）。

野崎 久義（生物科学専攻 准教授）

第43巻5号

発行日：2012年1月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会（e-mail：rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp）

牧島 一夫（物理学専攻）maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

広報・科学コミュニケーション：

井出 哲（地球惑星科学専攻）ide@eps.s.u-tokyo.ac.jp

横山 広美 yokoyama@sp.s.u-tokyo.ac.jp

野崎 久義（生物科学専攻）nozaki@biol.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：宇根 真（情報システムチーム）

加納 英明（化学専攻）hkano@chem.s.u-tokyo.ac.jp

une.makoto@mail.u-tokyo.ac.jp

清水 正一（総務チーム）shimizu.masakazu@mail.u-tokyo.ac.jp

小野寺正明（広報室）onodera.masaaki@mail.u-tokyo.ac.jp

印刷：三鈴印刷株式会社